

執筆者紹介

(担当章順)

ユスフ・ワナンディ (序文) インドネシア・ジャカルタの戦略国際問題研究センター (CSIS) 創設者であり、CSIS財団理事会副議長。太平洋経済協力会議 (PECC) インドネシア国内委員会副議長およびアジア太平洋安全保障協力会議 (CSCAP) インドネシア国内委員会議長、兼CSCAP運営委員会共同議長。英字全国紙「ジャカルタ・ポスト」の社主でもある。

タン・シーセン (第1章) シンガポールのナンヤン工科大学S.ラジャラトナム国際研究大学院 (RSIS) 研究副部長。同院では批判的安全保障論を受けもち、また多国間主義と地域主義に関する研究プログラムを調整している。CSCAPシンガポール国内委員会委員。アリゾナ州立大学博士。

ノエル・モラーダ (第2章) フィリピン大学ディリマン校政治学部準教授、戦略開発問題研究所 (ISDS) 所長。ノーザン・イリノイ大学政治学博士。フィリピン外交政策・国際関係、ASEANと域外国関係、ASEAN地域フォーラム、国際テロリズム、人間の安全保障等に関する研究・著作が多い。

ブン・ナガラ (第3章) 政治アナリスト、マレーシアの英字紙「スター」副編集長。民間独立コンサルタント会社、ジオポリシー・リサーチの元代表。マレーシア戦略国際問題研究所 (ISIS) の上級アナリスト。クアラルンプールの外交国際関係研究所や国防大学などの学術、政府機関の客員講師や外部試験官も務める。サウザンプトン大学 (メディア研究) およびウブサラ大学 (紛争解決) 卒。

リザール・スクマ (第4章) インドネシア・ジャカルタのCSIS副所長。ムハマディア中央執行委員会国際関係部会長、シャフィ・マーリフ文化人文科学研究所理事、ムハマディア大学マラン校国際関係学部客員講師、インドネシア国防省戦略防衛検討国家委員会委員なども務める。ロンドン大学LSE校国際関係博士。

ティティナン・ボンスヒラ（第5章） チュラロンコーン大学安全保障国際問題研究所（ISIS）所長。タイの政治、政治経済、外交政策、民主化におけるメディアの役割、ASEANの安全保障と経済協力などに関する多くの記事や論文を執筆。ロンドン大学LSE校博士。

恒川 潤（第6章、序章） 防衛研究所研究部上席研究官。1974年日本貿易振興機構（JETRO）に入り、東南アジアの経済発展について調査研究を行う。1998年防衛研究所に主任研究官として入所。専門は開発経済、東南アジア問題。2004年から2007年まで、同研究所の年次報告『東アジア戦略概観』編集長および執筆者を務めた。

**東アジアにおける地域秩序
- ASEAN・日本からの展望 -
恒川 潤 編**

平成20年3月 日本語版発行
ISBN 978-4-939034-40-4

発行者 防衛省防衛研究所
153-8648 東京都目黒区中目黒2-2-1
TEL: 03-5721-7005 (内線6588)
FAX: 03-3713-6149
Email: planning@nids.go.jp
Website: <http://www.nids.go.jp/>

Originally published in English:

Jun Tsunekawa ed., *Regional Order in East Asia: ASEAN and Japan Perspectives.*

Tokyo: National Institute for Defense Studies, August 2007. (ISBN 978-4-939034-39-8)

本書で表明されている見解は、各執筆者個人のものであり、必ずしも執筆者らの所属機関や政府の見解を代表するものではありません。

©2008 National Institute for Defense Studies. All rights reserved.

本書の全部または一部について、形態や手段を問わず、複製、情報検索システムによる保管、転送を行う場合には出版者からの書面での許可が必要です。

翻訳協力・印刷：株式会社日本リトリーバル

+

+

+

防衛研究所（NIDS）は防衛省の研究・教育機関であり、防衛・安全保障及び戦史に関する研究と、幹部自衛官及びその他事務系幹部職員の教育を行っています。また近年、諸外国の国防研究機関との研究交流に力を注いでいます。